

# ラウ・プラン



# English Learners

## フェイエットカウンティパブリックスクール

フェイエットカウンティパブリックスクールは、移民の子供や若者を含む英語学習者が、英語で高いレベルの学力を身につけ、地区内の全生徒が達成することが目標とされている州の学力基準と同じ高い水準を達成できるように支援する英語プログラムを提供します。

デメトラス・リギンズ博士

教育長

2021-2022

John D. Price Administration  
450 Park Place • Lexington, KY 40511  
<http://www.fcps.net/>

# ラウ・プラン委員会メンバー

フェイエットカウンティパブリックスクール

英語学習者部門

## メンバー 肩書

Lori Bowen	ディレクター
Rochelle Brown	教育スペシャリスト
Amanda Brumfield	EL教師、エレメンタリー
Tracy Bruno	ミドルスクール 主任
Amber Catron	校長
Shelley Chatfield	法務担当
Elizabeth Cloyd	教育スペシャリスト
Amanda Dennis	特別支援教育担当ディレクター
Joe Gibson	校長
Page Harman	教育スペシャリスト
Tara Hibbs	EL教師、ミドルスクール
Lisa Hillenbrand	教育スペシャリスト
Kate McAnelly	最高教育責任者
Tiffany Marshall	エレメンタリースクール主任
Lindsay Mattingly	ファミリー&コミュニティ・リエゾン
James McMillin	ハイスクール 主任

Lisa Nichols	EL教師、ミドルスクール
Betsy Rains	校長
Kristi Silvey	EL教師、ハイスクール
Brooke Stinson	リテラシー評価
Lisa Smith	エレメンタリースクール 主任

	内容	ページ
1	指導方針	4
2	英語学習者の登録、能力評価、クラス分け	6
3	プログラム概要	7
4	ミーニングフル・アクセス	10
5	プロフェッショナル・ラーニング	10
6	英語能力評価	11
7	終了基準と手順	11
8	モニタリング手順	12
9	プログラムの継続的評価	13
10	保護者との有意義なコミュニケーション	15

# 第1章 指導方針

連邦法 [Every Student Succeeds Act](#) (ESSA) (2015年) では、すべての子どもたちの教育に対する確固としたアカウンタビリティを規定し、特に同法のタイトルIとIIIにおいて、限られた英語力を持つ生徒に特化した規定を設けています。また、**No Child Left Behind** (NCLB) では、同法の趣旨を実行するために、州や地域の学校や大学に資金を提供しています。

1974年に制定された教育機会均等法 ([Equal Education Opportunities Act](#)) では、ラウ (Lau) 氏の意見で規定されている平等なアクセスを保証するために、学校は「適切な措置を講じる」ことが求められています。

1964年公民権法 ([Civil Rights Act](#)) のタイトルVIIは、国籍などによる差別を禁止しています。

最高裁判所の判決 1981年のカスタニエダ対ピカード ([Castañeda v. Pickard](#)) 事件の判例では、学校は以下の3つの要件を満たし保証することが求められています。健全な教育理論に基づいた実践を行うこと；適切なプログラムの効果的な実施；プログラムの評価とそれに伴うプログラムの修正により、プログラムが機能していることが証明されなければなりません。

1982年のプレイヤー対ドウ ([Plyler v. Doe](#)) の訴訟では、不法移民の生徒を含め、公立学校のすべての生徒に適切なサービスを提供しなければならないと判決を下しました。

1974年のラウ対ニコルズ ([Lau v. Nichols](#)) は、限られた英語力の生徒に、英語を母国語とする生徒と同じカリキュラム、指導、教材を提供することは、実質的に公平ではないとしました。

タイトル3 学校区は、以下のことを行う必要があります。:

必要事項

- 適時に有効かつ信頼性の高い方法でEL学生を識別する。

- すべてのEL生徒に教育的な言語支援プログラムを提供する。
- EL生徒を指導するための資格を持ったスタッフと十分なリソースを提供する。
- ELの生徒が学校のプログラム、活動、サービスに公平にアクセスできるようにする。
- 他の生徒からEL生徒を不必要に分離しない。
- EL生徒が英語を学び、学年レベルのクラスワークをこなしているかどうかをモニターする。
- EL生徒が言語支援プログラムを受けている間の授業上の障害を改善する。
- 英語力が伸びたEL生徒を言語支援プログラムから退出させ、早すぎる退出ではないことをモニターする。
- ELプログラムの有効性を評価する。

**州規制** 州が要求する評価・説明責任プログラムに特別な集団を含めるための手順  
[703 KAR 005:070](#)  
 高校卒業に必要な最低条件  
[704 KAR 003:305](#)

**地区の方針** [08.13452](#) カリキュラムとインストラクション：第二言語としての英語

## 第2章 英語学習者の登録、能力評価、クラス分け

1. 最初の入学時に、本校のすべての生徒の保護者（英語学習者であるか否かを問わない）は、家庭言語調査への回答を求められるものとする。入学手続きの連絡に必要な場合、保護者に翻訳・通訳サービスを提供すること。
2. 主言語または母国語が英語以外の生徒は、ESSAのタイトルIIIにある連邦政府の定義に従った英語学習者であるかどうかを判断するために、初回の英語学習者能力評価を実施する。英語習熟度評価では、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングを評価する。

英語学習者の識別は、入学初日からカレンダー日30日以内、または学年度中の入学からカレンダー日14日以内に行われなければなりません。

（注意：キンダーガーデン向けWIDAスクリーナーは、ケンタッキー州共通のキンダーガーデン早期スクリーナーであるBrigance Early Childhood Kindergarten

レベル	能力評価	評価管理者	習熟度評価
キンダーガーデン	キンダーガーデン向けWIDAスクリーナー	EL教師	全てのキンダーガーデンの生徒がELサービスの対象となる
1～5年生	WIDAオンラインスクリーナー	EL教師	総合 4.5
6～12年生	WIDAオンラインスクリーナー	学校区	総合 4.5

Screen IIIよりも先に実施されます。WIDA Screenerの結果をもとに、Briganceの通訳が必要かどうかを判断します）

3. 英語学習者の評価、クラス分け、および個別の英語学習者プログラムサービスプランの設計は、適切な州および連邦の教育要件に準拠して行われるものとする。
4. 指導および関連サービスは、一般教育カリキュラムへの参加を支援しながら、生徒の英語および学業上のニーズを満たすように設計され、進級または高校卒業のための言語障壁を克服するものとする。英語学習者として認定された生徒には、学校の英語教育プログラムに参加する機会が与えられるものとする。



## 第3章 プログラム概要

### プログラム・サービス プランの策定

1. 生徒が英語学習者（EL）と認定された後、生徒が学校の初日に入学した場合はカレンダー日30日以内に、生徒が学校年度の初日以降に入学した場合はカレンダー日14日以内に、プログラムサービスプラン（PSP）を作成すること。
2. EL教師は、家族を含むすべての関係者を招集して言語評価委員会（LAC）会議を開催し、ELのプログラム・サービス・プラン（PSP）に記載される適切な指導と評価の便宜を決定する。
3. LACでは、委員会メンバーはEL生徒のデータを確認し、適切な限定的英語能力（LEP）サービス、指導および評価上の便宜について議論する。各EL生徒は最低でも：1つのLEPサービスと1つの指導または適応評価を受ける。
4. EL教師は、選択したLEPサービス、指導および適応評価をInfinite CampusおよびELlevationのELモジュールに入力する。
5. EL教師は、ELlevationからPSPの紙コピーを作成、印刷する。
6. LAC会議に出席した全ての関係者がPSPに署名する。
7. 校長はPSPに署名する。
8. PSPのコピーはすべての関係者に提供されるものとする。
9. ESSA 1112 (e)(3)(A)で定められているように、学校区は英語学習者の保護者に以下の内容を記載した書面による通知を送るものとする。：

### ご家族への お知らせ

- a. 児童が能力評価されるまでのプロセス
- b. 児童の英語能力のレベル、その評価方法、児童の学業達成基準の状況
- c. 英語学習者のために地区が提供するプログラム
- d. プログラムが児童の教育上の強みとニーズをどのように満たすか
- e. 児童が英語を学び、年齢に応じた学業達成基準を満たすために、プログラムがどのように役立つか
- f. プログラムの具体的な終了条件
- g. 障害のある子どもの場合、そのプログラムが子どもの個別教育プログラムの目的をどのように満たしているか
- h. 通知は理解できるものでなければならず、実行可能な範囲で、親が理解できる言語でなければならない。
- i. 保護者の権利に関する情報として、（1）要求に応じて子供のELサービスを放棄する権利（2）子供の当該プログラムへの登録を拒否したり、学校が提供す

る別のプログラムや指導方法がある場合にはそれを選択するための保護者が持つ選択肢 (3) 複数のプログラムが提供されている場合には、様々なプログラムや指導方法の中から保護者が選択できるように支援すること、などの書面による説明が含まれる。

10. この通知は以下のように送付されるものとする。:

- a. 英語学習者のためのプログラムにすでに参加しているか、参加が認められている生徒については、学校の初日からカレンダー日30日以内に保護者に通知すること。
- b. 学校の初日以降に認められた生徒については、生徒がプログラムに参加してからカレンダー日14日以内に保護者に通知するものとする。

11. 保護者は、州の英語能力目標と必要な州の評価に対する児童の進捗状況について、毎年通知を受けるものとする。

## ELサービスの権利放棄

## 言語指導教育プログラム

英語学習者の保護者が通知を受け取った時点で、英語学習者には、ケンタッキー州アカデミック・スタンダードに定められたガイドラインに沿って、英語能力と学業成績に関する国、州、地域の基準による効果的な言語指導教育プログラムとカリキュラムに沿ったサービスが提供される。

家族は EL サービスを放棄することを選択できる。保護者が参加を辞退した場合、学区は、PSP、LEPサービス、指導および／または評価上の便宜を図ることにより、生徒の英語および学業上のニーズを満たす機会を平等に得られるようにする責任を有する。生徒は、州の終了基準を満たすまで、毎年ACCESSテストに参加する。

ELとして認定された生徒にどのようなELサービスやプログラムが最適かを判断するために、LACはその生徒の

- a. 英語力のレベル
- b. 学年レベル
- c. 学歴について
- d. バイリンガルプログラムの言語的背景
- e. その他の評価データ

LACが考慮するその他の児童主体の要素には以下のものがある。:

- f. 生徒の母国語の読み書き能力
- g. アメリカ社会への順応性
- h. アメリカの学校に在籍した期間

WIDA英語言語発達 (ELD) 基準は、ケンタッキー州で必要とされている英語能力 (ELP) の基準となります。この基準は、ケンタッキー州学術規格 (KAS) を補完するもの

であり、ELの生徒への指導の指針となります。WIDA ELD基準はKASに代わるものではなく、生徒が学校で仲間や教育者、カリキュラムに関わるために必要な社会的、教育的、学術的な言語を表しています。

以下の表は、Fayette County Public Schoolsで提供されているELプログラムの簡単な概要です。それぞれのプログラムには、英語学習者のニーズに対応するための専門的なトレーニングを受けた英語学習者の教師が必要です（例：ESLまたはバイリンガルの教師資格）。プログラムのサービスモデルは、英語学習者の固有のニーズを満たすために組み合わせることができます。

プログラムサービス オプション	特徴と説明
<b>ELD: English Language Development</b> 英語力の発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語のスキルとコンテンツが指導の中心となる。</li> <li>ELに英語を明示的に教えるために設計された技術、方法論、および特別なカリキュラムのプログラム。コンテンツの指示にアクセスするために必要な学術的語彙を含む。</li> <li>英語でのグレードレベルの内容説明の準備またはサポートのために、EL 認定教師が指導。</li> </ul>
<b>SEI: Sheltered English Instruction</b> 保護的英語指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツにアクセスするために必要な学術的な言語に焦点を当てた指導を行う。</li> <li>指導に使われる英語は、保護された指導方法で生徒の習熟度に合わせて調整されている。</li> <li>ELは、資格を受けた教師が英語で学術的な内容を指導する。</li> </ul>
<b>CBE: Content Based ESL</b> ESLベースの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育内容と英語力の向上の両方に重点を置いた指導</li> <li>指導に使用する英語は、生徒の習熟度、言語発達のニーズに合わせてカリキュラムを変更する。</li> <li>ELは、ELとコンテンツエリアの両方の有資格者の教師が担当。</li> </ul>

プログラムサービスの  
プランと必要な生  
徒の記録

## 第4章

**SEN: Structured English Immersion**  
英語集中の構造化

- コンテンツにアクセスするために必要な学術的な言語に焦点を当てた指導を行う。
- 指導に使われる英語は、保護的指導方法で生徒の習熟度に合わせる。
- ELは、内容認定を受けた教師が英語で学習内容を教える。EL教師は、コンテンツの教師と協力して、言語のニーズが満たされるようにする。

必要な分離を避けるために

ELサービスを受けている各生徒の記録を維持する必要があります。Fayette County Public Schoolsでは、ELlevationプラットフォームおよび/または以下のような累積記録でELの記録を管理しています。:

特別支援教育の対象となるEL生徒の評価とデュアルサービスの提供

- 母国語調査票のコピー
- 初期英語力 (WIDA キンダーガーテンスクリーナー/ WIDA オンラインスクリーナー)
- ESSA 1112(e)(3)(A)の必須情報を含む保護者への通知書のコピー
- 学業成績のレベル (例: 成績表、中間試験など)
- 年次ELP評価結果 (ACCESS for ELLs 2.0)
- 703 KAR 5:070に必要な以下の必須要素を含むプログラムサービスプラン:
  - 生徒のELステータスを決定するために実施された英語能力 (ELP) 評価の名前と日付
  - 指導および/または評価において実施される具体的な対応策
  - 文書を検討し、決定と判断したLAC/PSP委員会メンバーの名前のリスト
  - 対応する学校の校長の署名は、記載された便宜を承認することを示すものです。

## 第5章

有資格教師

人員数

## ミーニングフル・アクセス

Lサポートの為に一般教員の研修

ELの生徒は、すべてのカリキュラムおよび課外プログラムにミーニングフル・アクセスを提供されなければならない。ミーニングフル・アクセスには以下が含まれるが、これに限定されるものではない。:

- 進級・卒業要件を満たすための学年に応じたカリキュラム
- プリスクール、全日キンダーガートン、マグネット、ギフトド&タレント、キャリア&テクニカル・エデュケーション、アート、アスレチック・プログラム、アドバンスト・プレースメ

ント（AP）、国際バカロレア（IB）コース、クラブ、名誉団体など、すべてのプログラムに参加する機会が均等に与えられていること。

## 第6章

EL生徒は、国籍やELのステータスに基づいて分離されてはならない。ELプログラムのサービスオプションは、EL生徒が1日の一部分で個別の指導を受けることを必要とするかもしれないが、選択されたプログラムは、プログラムの教育目標を達成するために一貫性のある最も分離されていない方法で実施されなければならない。

障害を持つELの生徒には、連邦法で認められている言語支援と障害関連サービスの両方を提供しなければなりません。

英語能力スクリーナー

- 障害を持つ可能性のあるELの生徒は、特別教育および障害関連サービスのために、適時に所在を確認し、識別し、評価しなければなりません。
- 限られた英語力を持つEL生徒を障害のある生徒として不適切に認定することを避けるために、EL生徒は、生徒のニーズと言語能力に基づいて、適切な言語で評価されるものとする。

年次評価

- 個別教育計画（IEP）を作成するチームには、EL生徒の言語関連のニーズに対応するサービスを提供するために、生徒の言語ニーズに精通した参加者が含まれていなければなりません。

## プロフェッショナル・ラーニング

限られた英語力の生徒を教えることを承認された教師またはEL指導の資格を持つ教師が、ELの生徒に言語指導や一般教育カリキュラムへのアクセスを提供します。

フイエットカウンティパブリックスクールのStandard Operating Procedure for English Learners Staffing Formulaは、EL生徒の登録数と複雑性に基づいて年間の人員配置を決定するために使用されるものとする。毎年2月1日にInfinite Campusから生徒の入学データを抽出し、次年度の入学者数を予測するものとする。

認定された一般教育の教師は、英語学習者のための一般教育カリキュラムへの公平なアクセスを提供するために、毎年トレーニングとサポートを受けるものとする。EL教師または地区スタッフは、専門的な学習経験を提供する。

## 第7章

英語学習者プログラムの終了

英語学習者指導スペシャリストは、英語学習者と一般教育の教師に専門的な学習と継続的なサポートを提供する。教育専門家は、ケンタッキー州教育省が提供するWIDAの専門的な学習機会に参加する。

## 英語能力評価

英語力を身につけていない英語学習者は、学業内容に関する生徒の知識と能力に関する正確なデータを得るために、有効で信頼できる方法で州全体のテストで評価し、適切な便宜が図られるものとする。

ケンタッキー州では、HLSに基づいてELの可能性があると判断された生徒の英語力（ELP）を判定するために、WIDAスクリーナー評価を使用しています。幼稚園児はWIDA Screener for Kindergarten、1年生から12年生までの生徒はWIDA Online Screenerを使ってスクリーニングを行います。

## 第8章

ESSA 1111 (2) (G)では、地区が毎年、すべてのEL生徒のELPを評価することが義務付けられています。ケンタッキー州では、毎年のテスト期間中に、すべてのELの生徒に「Kindergarten ACCESS for ELLs」と「ACCESS for ELLs 2.0」（1～12年生）を実施しています。ACCESSは、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4つの領域で生徒の言語能力を評価します。

ELに在籍している生徒は、ACCESSテストを受けなければなりません。ELの生徒は、州の終了基準を満たすまで、毎年ACCESSテストに参加します。

Alternate ACCESSは、著しい認知障害のある1年生から12年生のELに個別に実施される紙ベースのテストです。各生徒のIEPチームは、生徒がどの評価を受けるべきかを決定し、各生徒のIEPまたは504チームは、便宜を図る必要があるかどうかを決定します。

## 終了基準と手順

プログラムのガイドラインには、生徒がいつ終了するかを示す客観的な終了基準を含む評価プロセスが含まれています。:

- a. 話す、聞く、読む、書くといった英語を理解し、必要な能力を身につけている。
- b. 英語学習者以外の教室に入り、うまく参加することができる。
- c. 高校卒業を期待できる



## 第9章

### 英語学習者 プログラムの目標

ケンタッキー州のELプログラムを終了するためには、Kindergarten ACCESS for ELLsのOverall Composite Proficiency Levelが4.5以上、または、ACCESS for ELLs 2.0のOverall Composite Proficiency Level Tier B/Cが4.5以上であることが必要です。Alternate ACCESS for ELLsを受験する生徒は、Overall CompositeでP2以上のスコアを獲得することでELステータスを終了します。プログラム終了日は、生徒がサービスを終了した学年の6月30日となります。

### プログラムの評価

WIDA非加盟の州からフェイスエットカウンティパブリックスクールに転校してきた生徒が、その州でモニターおよび/または終了ステータスになっている場合、モニターおよび/または終了ステータスは尊重され、生徒はモニターおよび/または終了ステータスを継続することになります。

## モニタリング手順

完全に英語を取得した生徒（RFEP）に再指定されたEL生徒の学業成績は、4年間にわたって監視されるものとする。コンテンツ担当教師は、2年に1度、ELlevationにRFEP生徒の成績に関する情報を記録する。

以下の情報を考慮することができる。:

- アメリカの英語圏の学校に入学してからELプログラムを終了するまでの期間に関する記録
- 標準的な学力テストの成績
- コンテンツエリアクラスの成績
- 成績平均点
- 保護者による観察とフィードバック
- 教師による観察
- 進級と卒業の要件を満たすこと
- 卒業率

モニタリングの結果、学業成績や英語力に問題があると判断された場合には、その生徒に追加のサポートを提供しなければならない。これらの追加サポートにもかかわらず、終了したEL生徒が進歩していない場合は、有効で信頼性のある学年相応の評価（WIDA MODELなど）を用いて再評価を行い、ELプログラムの追加サービスを提供すべきかどうかを判断することがある。生徒が再びELプログラムに参加する場合、地区はその理由を記録し、生徒の保護者から同意を得るものとする。

ESSA 3121(a)(5)では、生徒がELプログラムサービスを受けなくなってから4年間、KASを満たすELの数と割合を報告することが求められている。データには、読み書き、数学、科学の内容評価の結果が含まれ、障害のある英語学習者ごとに集計されなければならない。また、言語支援プログラムに参加したことで生じた学力低下を確実に取り戻すために、データは終了日の翌年に分けて集計されます。（例：RFEP 1年目、2年目）

## 第10章

### プログラムの継続的評価

フイエットカウンティパブリックスクールは、英語学習者が英語力を身につけ、英語で高いレベルの学力を身につけ、地区内の全生徒が達成することが期待されている州の学力基準と同じ高い水準を達成することを支援するための英語プログラムを提供する。

英語学習者のための指導プログラムは、言語の障壁を取り除くための進捗状況を判断し、必要な指導上の変更を特定するために、定期的に評価されるものとする。

地区英語学習者プログラム・リエゾン、英語学習者インストラクショナル・スペシャリスト、および英語学習者部門のディレクターは、教育および課外活動の両方において、生徒に平等な教育の機会をあたえられているかを監視する。

毎年、以下のデータ要素を使用する。:

- ケンタッキー州のSummative AssessmentとMAP（K-8）の評価のスコア
- WIDA ACCESS 2.0 for ELLsのスコア
- コンテンツ・コースの成績
- 再分類と終了率
- 9～12年生の卒業率と退学率
- 上級コース（優等生、アドバンスト・プレースメント（AP）、国際バカロレア（IB））への参加率、英才教育サービスへの参加率
- プリスクール、マグネット、特別プログラムへの登録率
- 特別支援教育への登録率
- 一時的な入退学率と出席率
- 課外活動への参加
- 停学率
- 大学とキャリアの準備
- プロフェッショナル・ラーニング・レコード
- 生徒とEL教師の比率



データ要素は、現在のEL、以前のEL、および一度もELを受けたことのない人の成績を比較することにより、地区のELプログラムを継続的に改善するために活用される。この評価には、以下の分析が含まれる。:

- ELプログラムの実施
  - 不必要な人種分離
  - パフォーマンスデータから、ELが適切な期間内に習熟度に達していないと判断された場合のプログラムの修正
  - 基準に基づいた学年相応の指導を受けていないEL
- スタッフの配置とプロフェッショナル・ラーニング
  - 地区や校長による教師の授業チェック
  - プロフェッショナル・ラーニングの効果
- 生徒のパフォーマンス（英語力の向上）
  - 生徒の英語力のレベル
  - 適切な期間内での言語能力の達成
- 生徒のパフォーマンス（アカデミックコンテンツ）
  - 大学やキャリアの準備につながる機会への同等のアクセス
  - 学年レベルの内容の習得
  - コンテンツ分野における長期的なパフォーマンス
  - 卒業率、退学率、定着率

## 保護者との有意義なコミュニケーション

多言語を話す家族は、英語を話す家族に伝えられたプログラム、サービス、活動に関する情報を適切に通知するために、理解できる言語で意味のあるコミュニケーションを取る権利があります。これらのコミュニケーションには、以下のような情報が含まれますが、これらに限定されるものではありません

- 言語支援プログラム
- 特別支援教育および関連サービス
- IEPミーティング
- 苦情処理手続き
- 差別禁止の通知
- 生徒の規律に関する方針と手続き
- 登録と入学
- 成績表
- 地区や学校の活動への生徒の参加に対する保護者の許可の要請
- 保護者と教師の面談
- 保護者向けハンドブック
- ギフテッド&タレント、マグネット、特別プログラム

フェイエットカウンティパブリックスクールの通訳と翻訳サービス部門は、母国語の通訳と翻訳を提供することで、多言語を話す家族に公平なアクセスを提供しています。通訳・翻訳サービスには次のようなものがあります。:

- 現場での通訳
- バーチャル・リモート・インタープリティング(VRI)
- 電話通訳
- 文書翻訳

通訳・翻訳サービスは、学校の指定した人がデジタルリクエストシステムを使ってアクセスします。割り当ては、通訳・翻訳サービス部門のリエゾンによって決定されます。

ESSA 1112(e)(3)(A-B)では、各地区が、生徒が英語を母国語としない者と認定され、言語指導教育プログラム(LIEP)に配置されたことを家族に通知することを義務付けています。

通知は、始業日から30日以内、または始業日以降に入学した生徒の場合は登録後14日以内に家族に提供しなければなりません。

ESSA 1112(e)(3)(c)では、地区が多言語の家族に効果的な働きかけを行い、以下の方法を知らせることが求められています。:

- 生徒の教育に携わる

- 積極的に参加して、生徒が以下のことをできるようにサポートします。
  - 英語力の向上
  - 充実した教育で高いレベルの成果を出す
  - すべての生徒に期待されているケンタッキー州の学力基準を満たす

アウトリーチには、通知の送付、および家族からの提言に応えるための定期的なミーティングの開催などが含まれます。

ESSA 1112(c)では、家族に提供される通知や情報は、理解しやすい統一された形式で、家族が理解できる言語で提供されることが求められています。コア・インストラクションと英語学習者プログラムに関連する翻訳・通訳サービスの提供は、連邦公民権法の要件です。